

# コロナ禍における沖縄文化芸能の 現状調査アンケート

スタッフ 編

**[集計]**

実施機関：2021.6.10～2021.6.30

NPO法人 沖縄イベント情報ネットワーク  
公益財団法人 みらいファンド沖縄

## ■実施の目的

コロナ禍が続くなか、沖縄の文化芸能活動に携わる方々は「現在どのような現状にあり、どんなことで困っているのか」を調査し、その結果を沖縄県や市町村等の行政機関、および新聞等の県内メディアに提示して、補助金や基金など「文化芸能活動を続けるために必要な具体的支援」の立ち上げにつなげることを目的とする。

## ■実施の背景

2020年初めから、日本国内で新型コロナウイルスの感染拡大が進み、イベントの開催に影響が出始めてから1年以上が経過した。これまで沖縄イベント情報ネットワーク・篋柄暦では、沖縄のイベント情報を収集・整理・発信する活動を通じて、沖縄の文化や芸能に携わる方たちの活動を微力ながらサポートしてきたが、現在はコロナ禍でイベント自体が激減しており、それもままならない状態にある。そこで私たちは「情報発信以外にも何かできることはないか」と考え、本調査の実施を企画した。

調査結果の分析および提言は、公益財団法人 みらいファンド沖縄と共同で行う。みらいファンド沖縄は、地域の困りごとを解決するために基金を作り、個人や企業からの寄付金を届けたり、市民活動への助成を行う行政や企業に対し、助成プログラムの開発支援・協力などを行っている団体である。

沖縄の文化芸能活動に携わる方々にとって、今、そしてこれから「本当に必要な支援」とはどのようなものなのか。本アンケートを通じて「現場の声」を集め、行政機関やメディアに働きかけ、具体的な支援策につなげることを目指す。

## ■実施の概要

幅広い範囲の回答を得るため、3つの回答フォームを用意した。

### パフォーマー編

ミュージシャン・伝統芸能の実演家・役者・ダンサー・アート作家・タレント・講師・司会者など、表舞台に立って（または人に教える立場で）文化芸能活動を行っている個人の方

### スタッフ編

イベントのプロデュースや演出、舞台制作、音響、照明、撮影、レコーディング、アーティストマネジメント、広報、キュレーターなど、パフォーマーの活動やイベントをスタッフとして支える個人または団体の方

### イベント施設編

ライブハウス、ホール、ギャラリー、観光施設、民謡居酒屋など、イベントを開催する施設のオーナーまたはスタッフの方

※アンケートでご回答いただいた内容は、統計データとして、特定の個人を識別できない状態に加工したうえで公表する。

※アンケートは「沖縄県内での活動」を前提に設計しているが、沖縄県外で「沖縄の文化芸能活動」を行っている方からの回答も受けた。

## スタッフ編

### 1) プロフィール

- 1-1. 回答数・回答者所在地
- 1-2. 年代・性別
- 1-3. 担当業務
- 1-4. 活動現場

### 2) コロナ禍前後での経済状況の変化

- 2-1. 2019年と2020年のイベント担当数比較
- 2-2. 2019年と2020年のイベント担当数比較（県外公演）
- 2-3. コロナ対策の支援制度活用
- 2-4. 支援制度を活用しなかった理由
- 2-5. 今後必要な支援

### 3) コロナ禍前後での活動状況の変化

- 3-1. 収入の変化
- 3-2. コロナ禍の前はどのように活動
- 3-3. コロナ以降で働き方に変化はあったか
- 3-4. コロナ前後の主な収入源
- 3-5. スタッフワーク以外の仕事の雇用形態
- 3-6. コロナ後の活動再開予定

### 4) 配信について

- 4-1. 配信経験
- 4-2. メリット、デメリット（別紙）

### 5) フリー書き込み欄（別紙）

# プロフィール

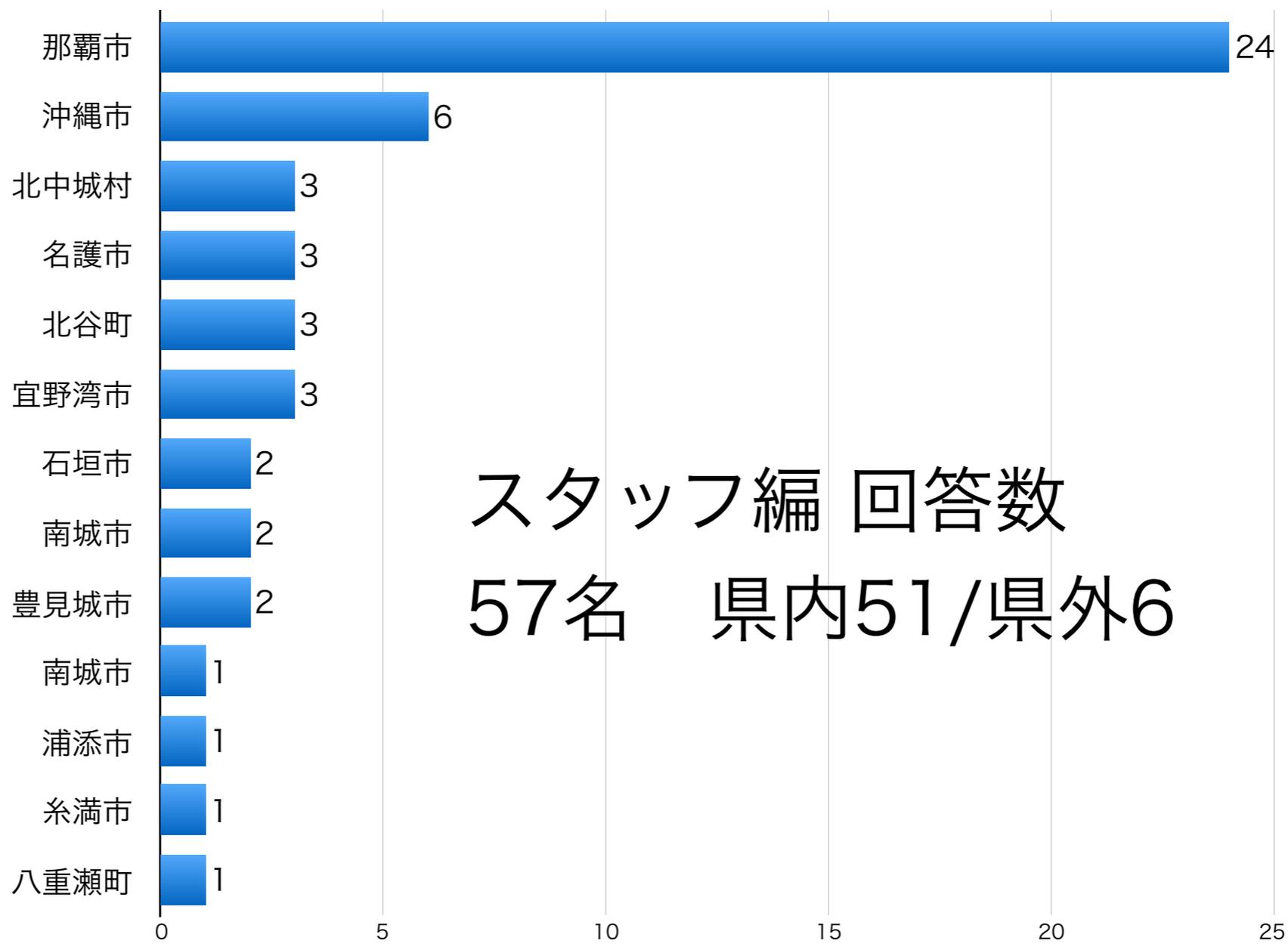
1-1. 回答数・回答者所在地

1-12. 年代・性別

1-3. 担当業務

1-4. 活動現場

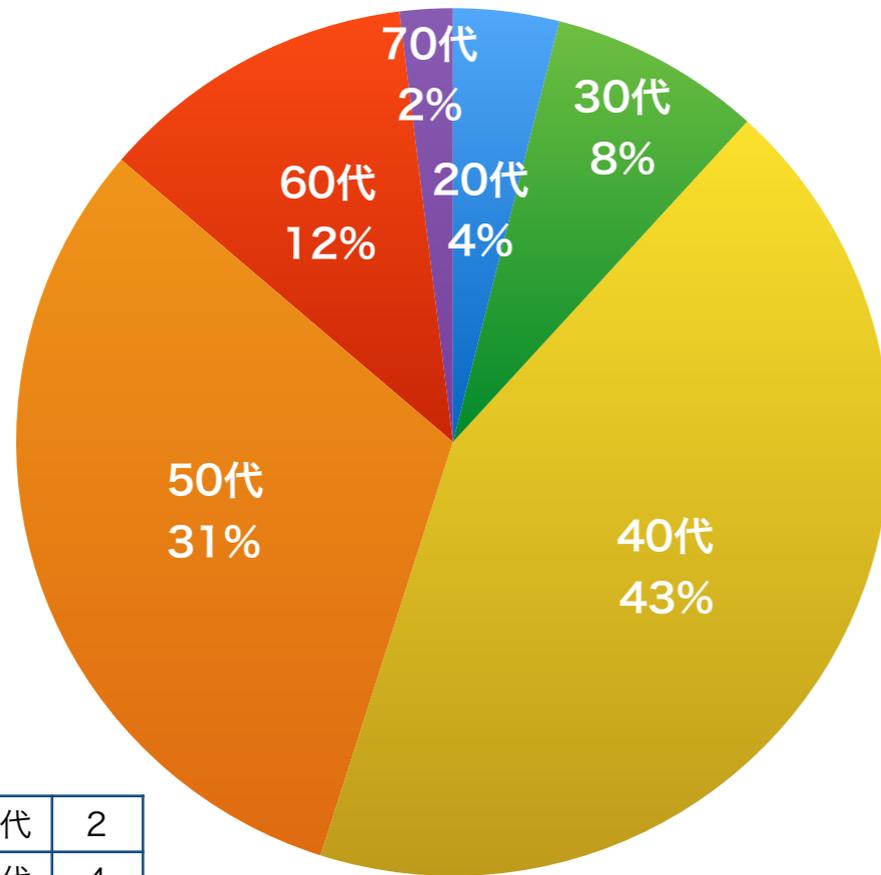
# 1-1. 回答数・回答者所在地



スタッフ編 回答数  
57名 県内51/県外6

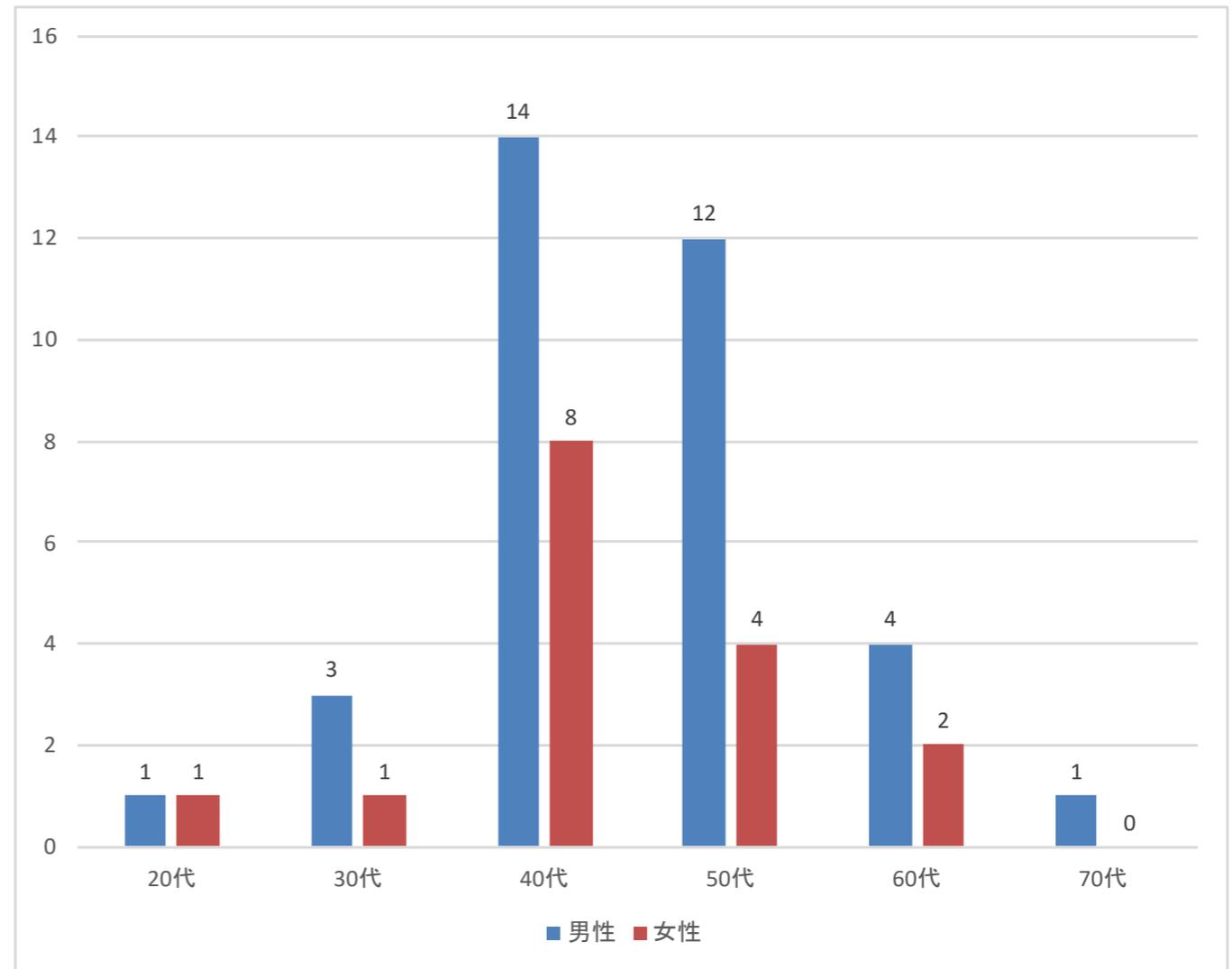
# 1-2. 年代・性別

年代



20代	2
30代	4
40代	22
50代	16
60代	6
70代	1

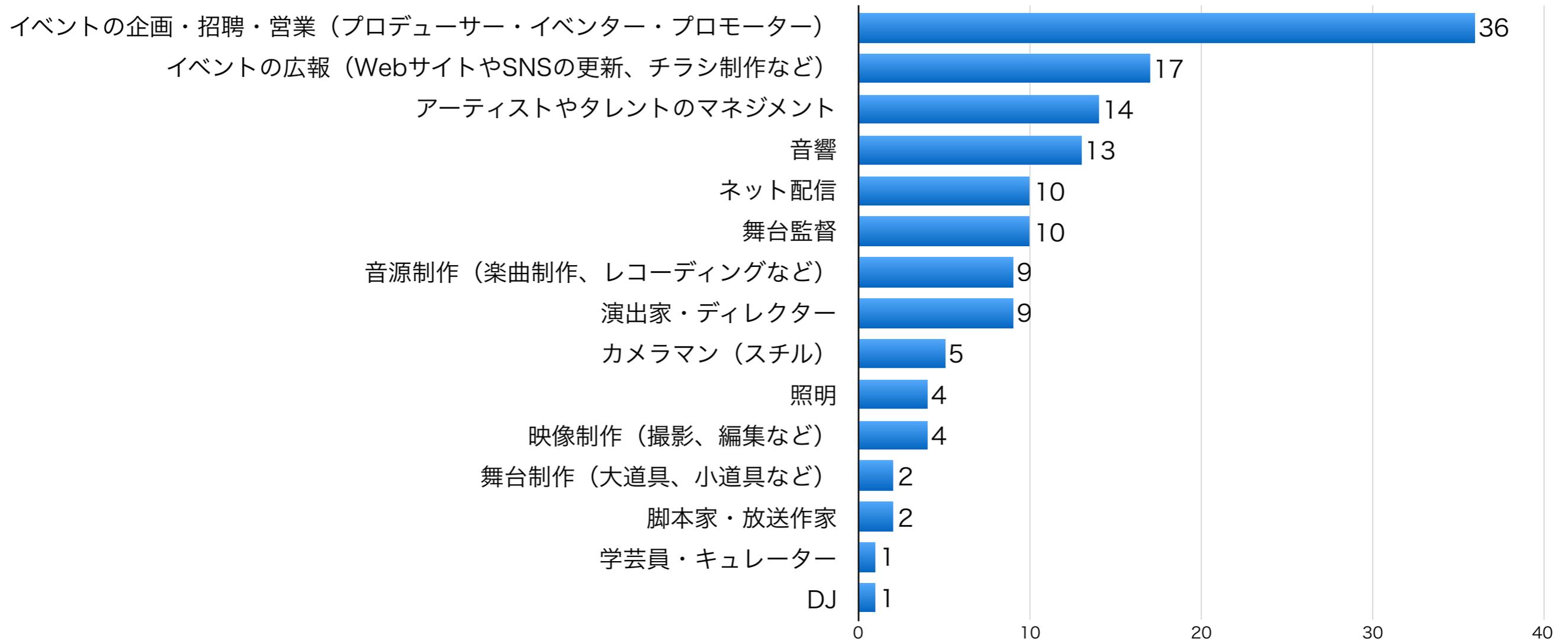
性別



スタッフ編

回答数 57名 県内51/県外6  
 県内51 (男性41人 女性15人)  
 県外6 (男性人 女性人)

# 1-3. 担当業務

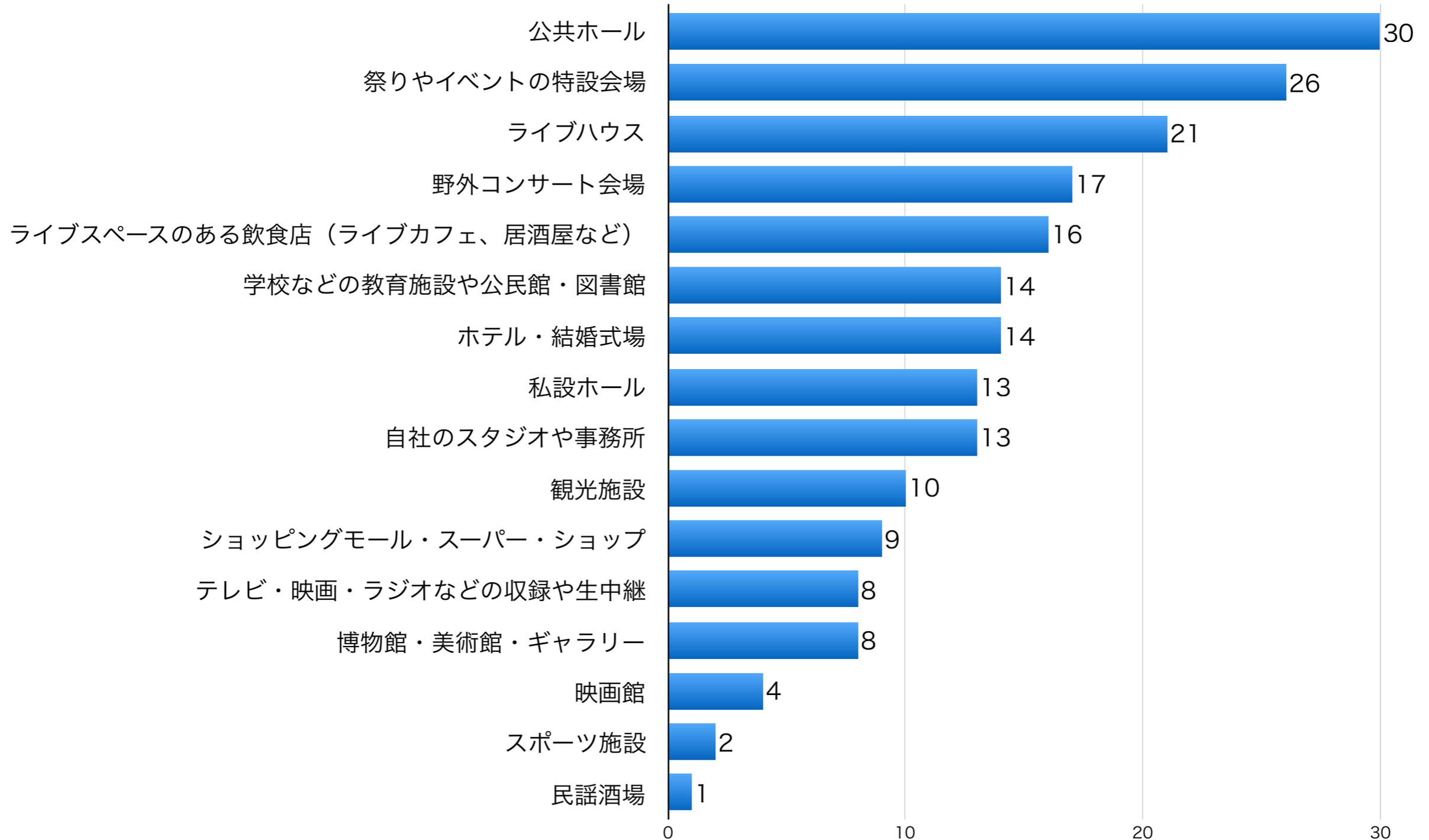


# 担当業務

## その他

大学での美術史・視覚文化理論の教育・研究。個人での評論家としての執筆・講演活動  
子どもたちの育成、子どもの居場所づくり 他  
現代アートや美術関連。海外撮影案件のコーディネート、通訳、執筆、取材など。  
イベントの出演者、スタッフ関係者、観客の交通及び宿泊手配  
イベント制作・運営  
グッズ企画制作・販売  
パフォーマンスのサポート  
プロデュース  
リハーサルスタジオ営業  
三線の製作、修理  
公演当日運営  
楽器レンタル  
野外の企画や空間づくり全般

## 1-4. 活動現場



# コロナ禍前後での経済状況の変化

2-1. 2019年と2020年のイベント担当数比較

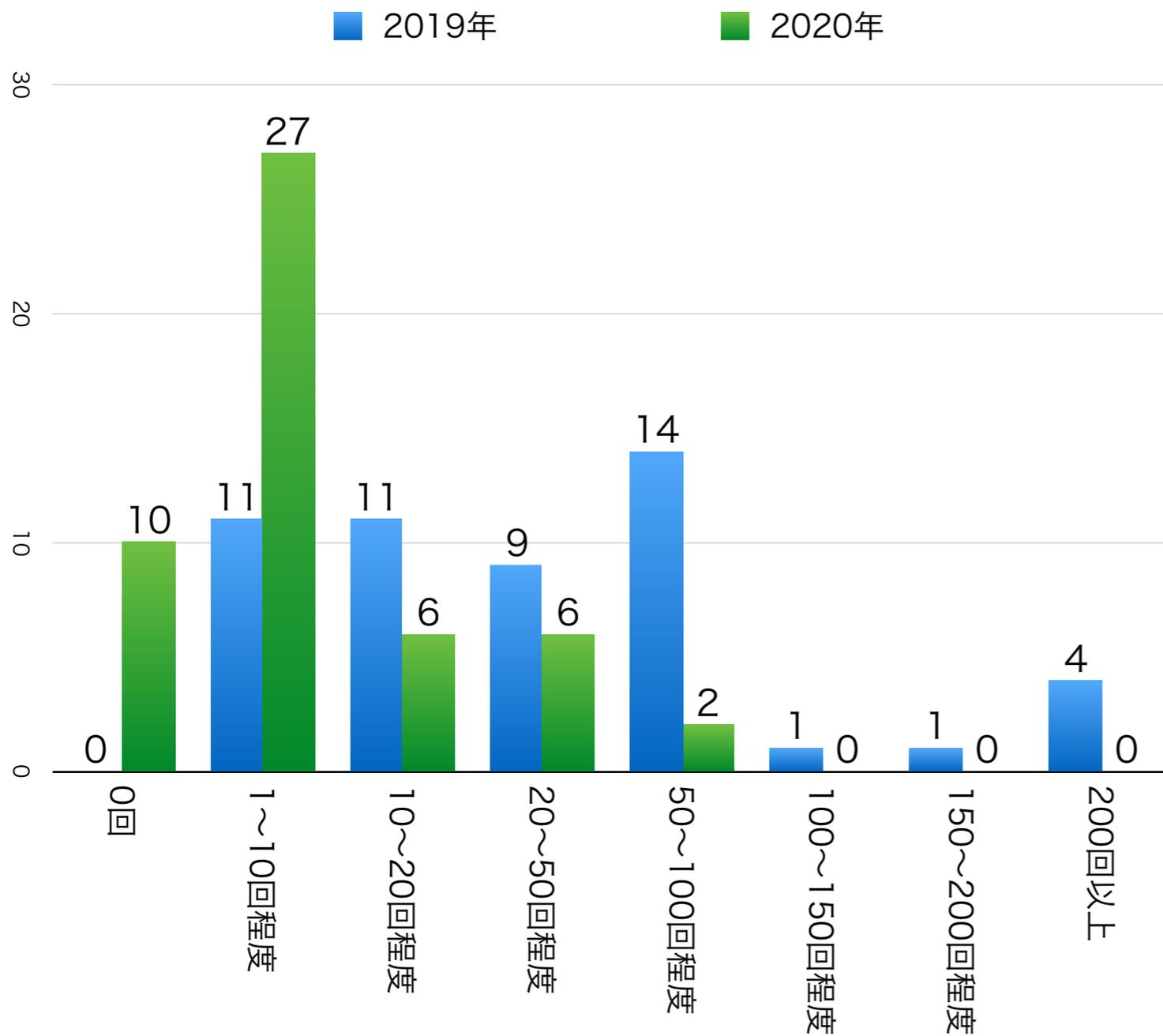
2-2. 2019年と2020年のイベント開催数比較（県外公演）

2-3. コロナ対策の支援制度活用

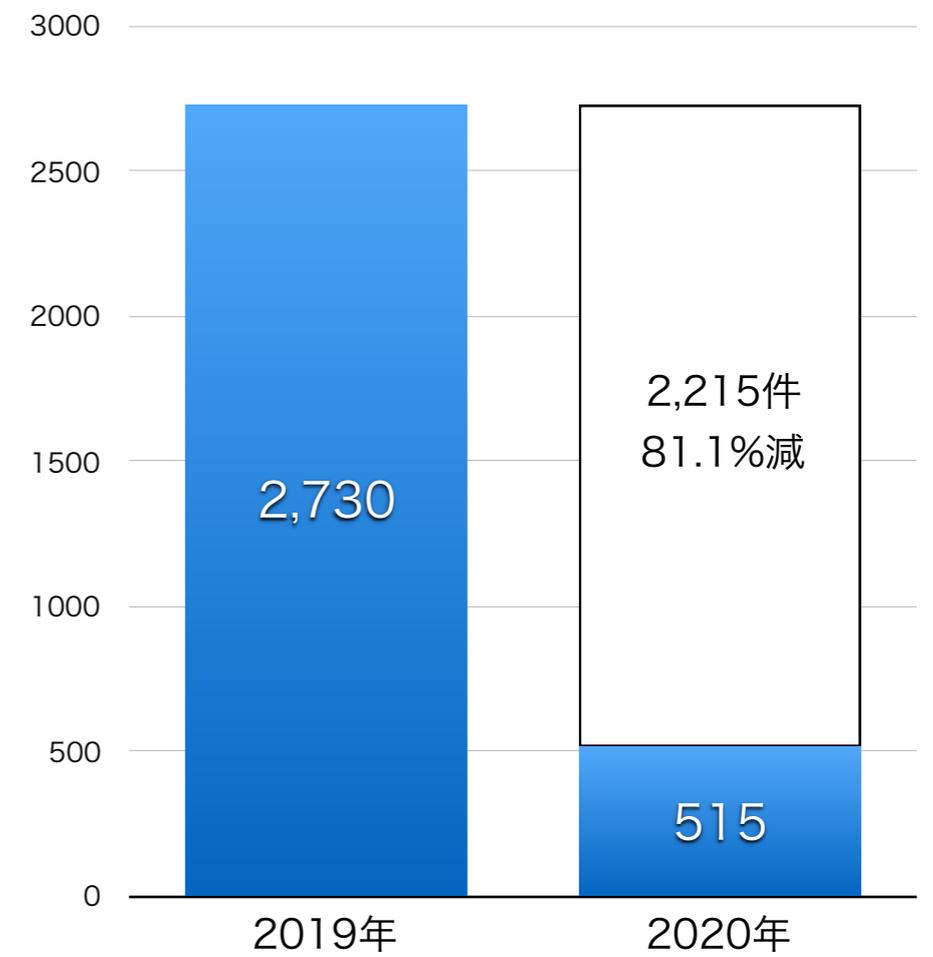
2-4. 支援制度を活用しなかった理由

2-5. 今後必要な支援

## 2-1. 2019年と2020年のイベント担当数比較

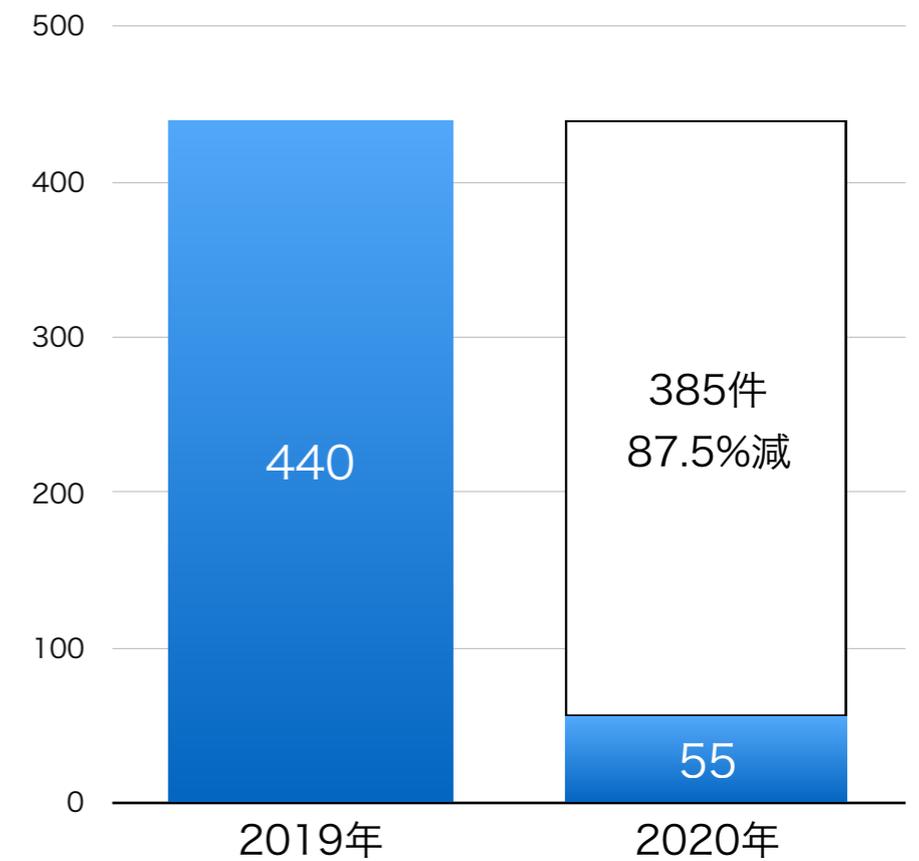
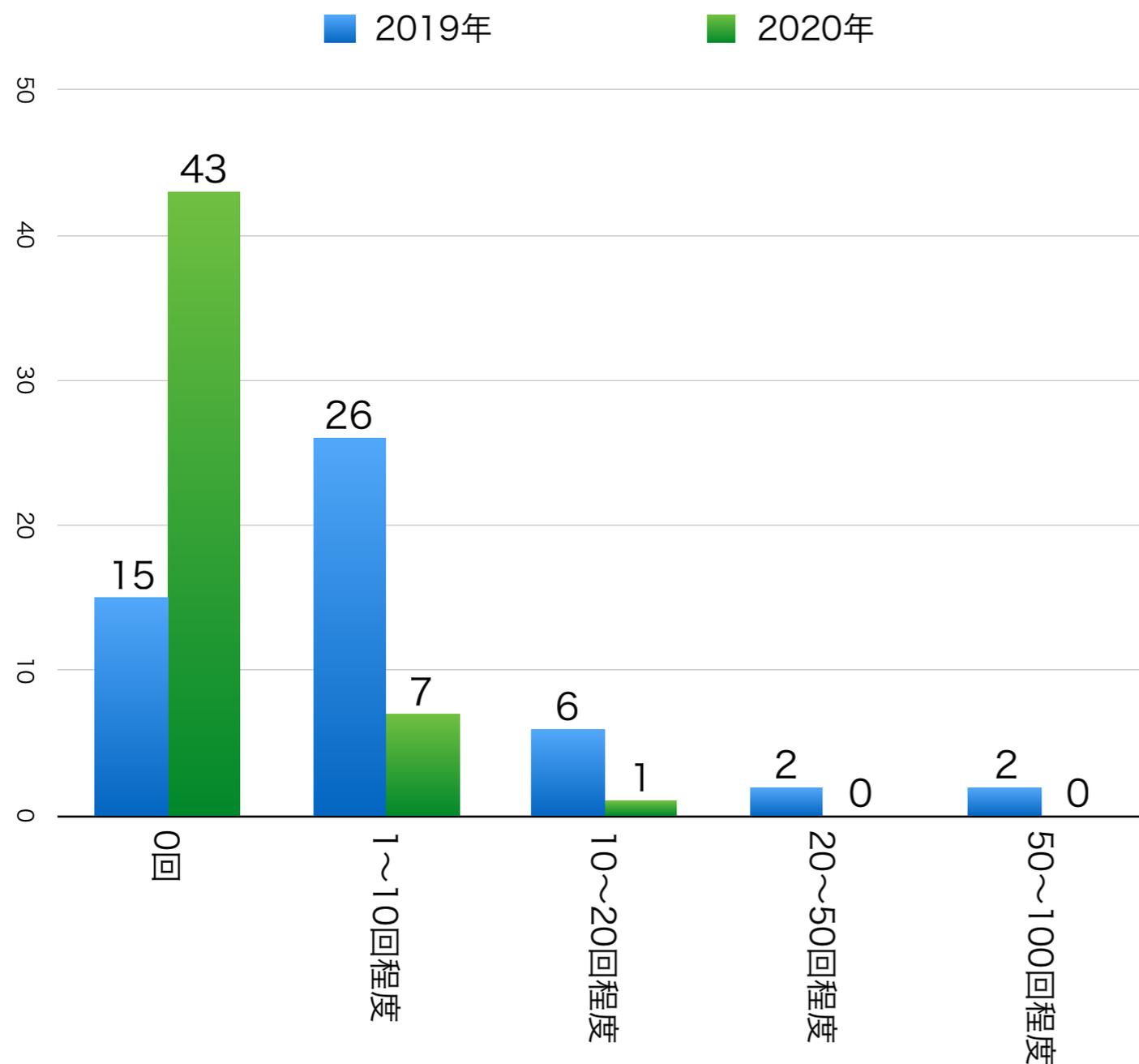


2019年と2020年に行われたイベント開催数を比較。



おおよその開催総数を割り出し比較。

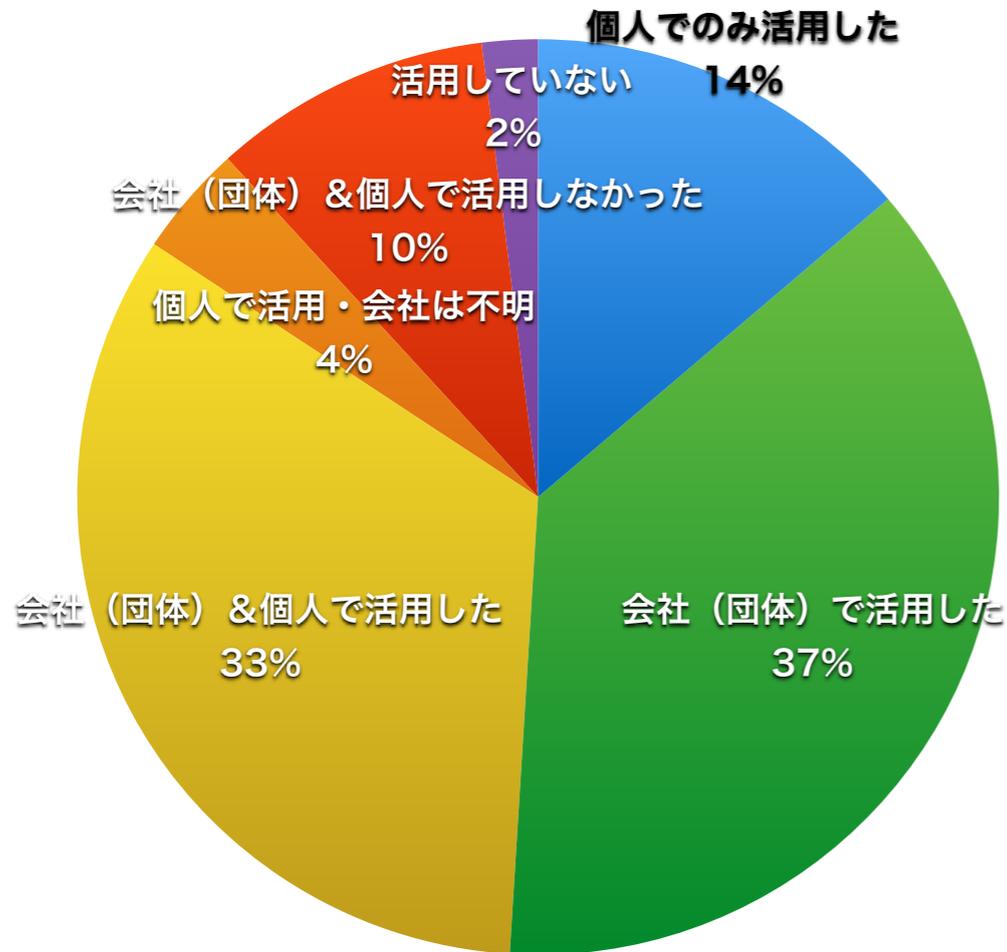
## 2-2. 2019年と2020年のイベント担当数比較 (県外開催)



おおよその開催総数を割り出し比較。

2019年と2020年に行われた県外公演の数を比較。

## 2-3. コロナ対策の支援制度活用

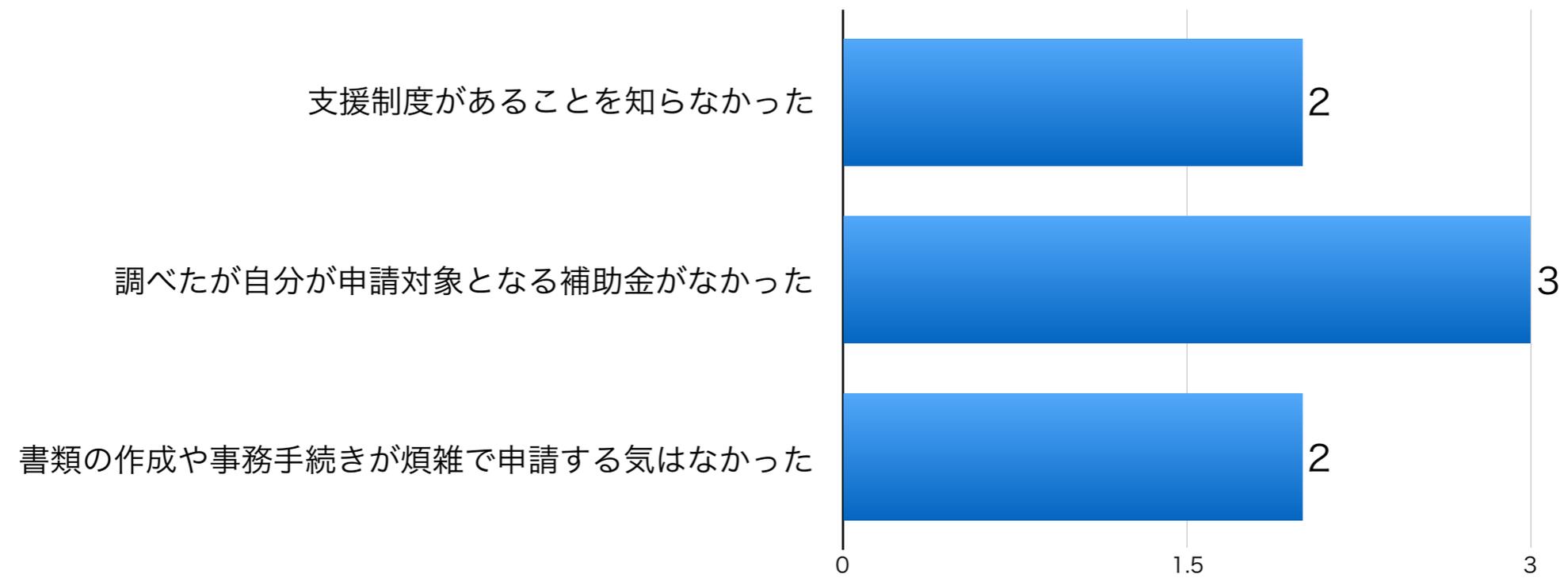


個人でのみ活用した	7
会社（団体）で活用した	19
会社（団体）&個人で活用した	17
個人で活用・会社は不明	2
会社（団体）&個人で活用しなかった	5
活用していない	1

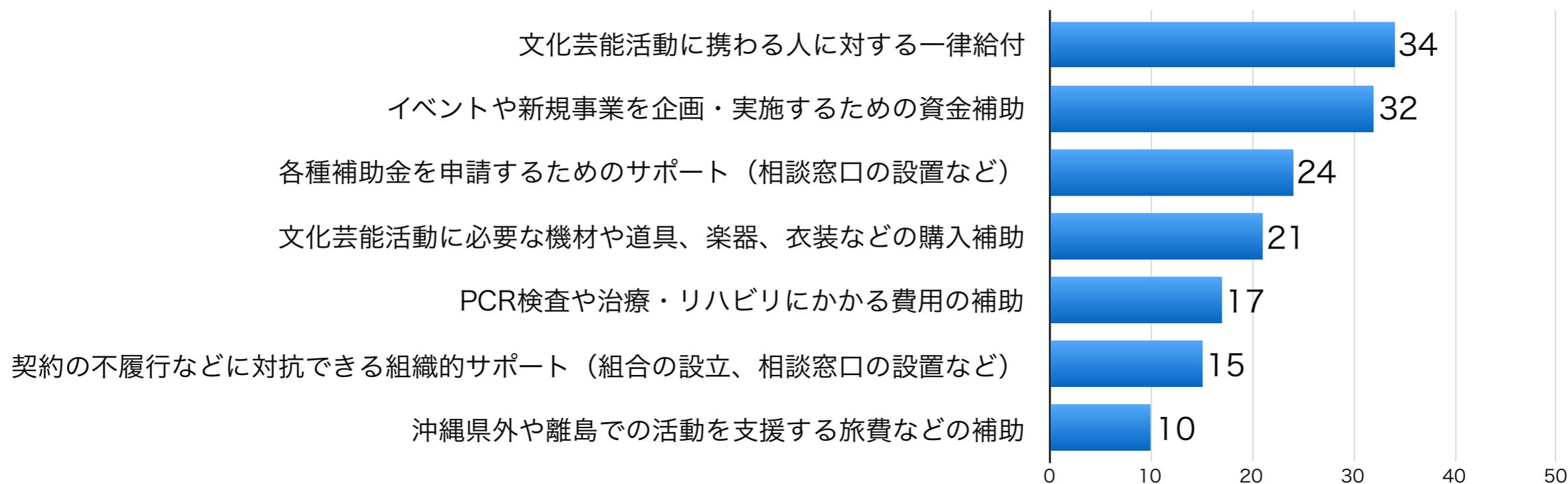
- うちなーんちゅ応援プロジェクト 3
- 一時支援金 3
- 沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業（文化振興会）
- 休眠預金コロナ禍緊急助成
- 名護市事業者緊急支援金
- 特別家賃支給給付金 6
- 持続化支援金 16
- 文化芸術活動の継続支援事業（文化庁） 8
- 新型コロナウイルス対応緊急支援助成『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業
- 沖縄文化芸術コンテンツ配信環境支援事業 2
- 沖縄県中小企業支援金 2
- 特別定額給付金(個人)
- 那覇市市民活動チャレンジ助成金
- 雇用調整助成金 6

その他数件沖縄県と沖縄市独自の支援金(名前を忘れました)

## 2-4. 支援制度を活用しなかった理由



## 2-5. 今後必要な支援



イベントでコロナ感染者が出た場合のイベント保険。

メディアでのイベント参加者へのリスク周知 (特に高齢者や基礎疾患を持っている方)

海外とのオンラインでのプロジェクトを支援するもの

イベントを「禁止する条件」の提示ではなく「参加実施して良い条件」の提示、アピール。

イベント関連会社の規模に応じた支援金

休業補償

会場や場所の支援(運営、設備、その他)

早期のワクチン接種

# コロナ禍前後での活動状況の変化

3-1. 収入の変化

3-2. コロナ禍の前はどのように活動

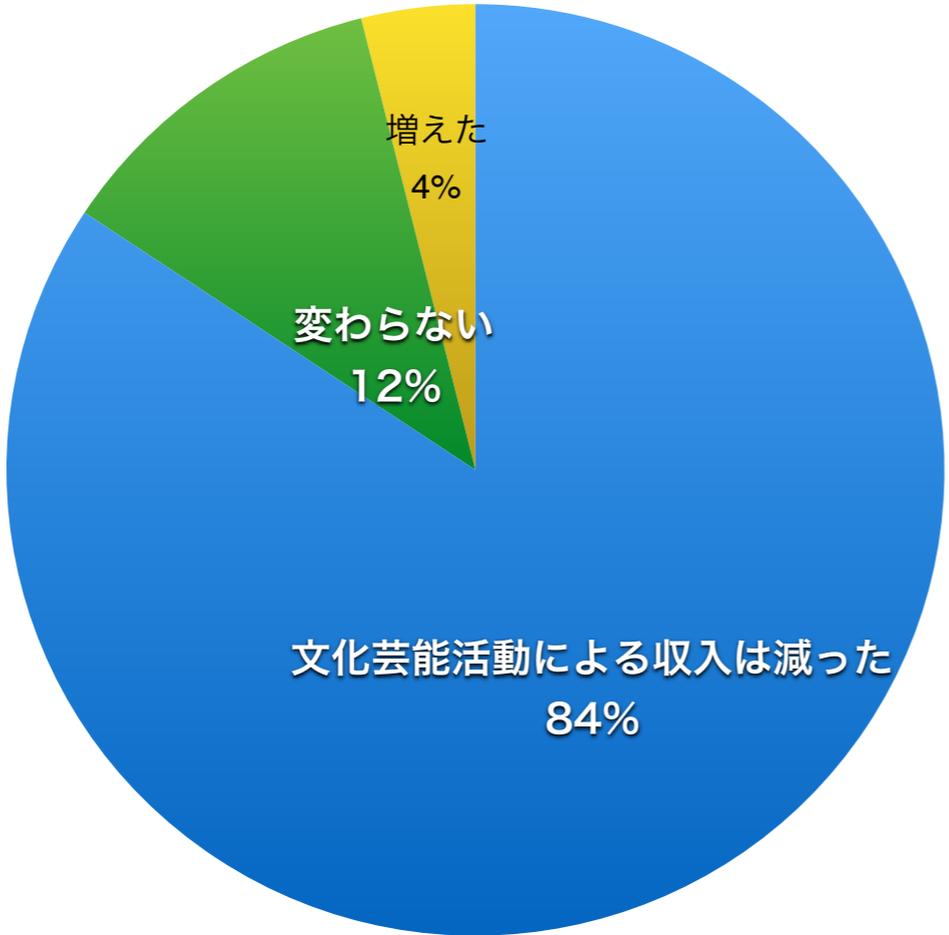
3-3. コロナ以降で働き方に変化はあったか

3-4. コロナ前後の主な収入源

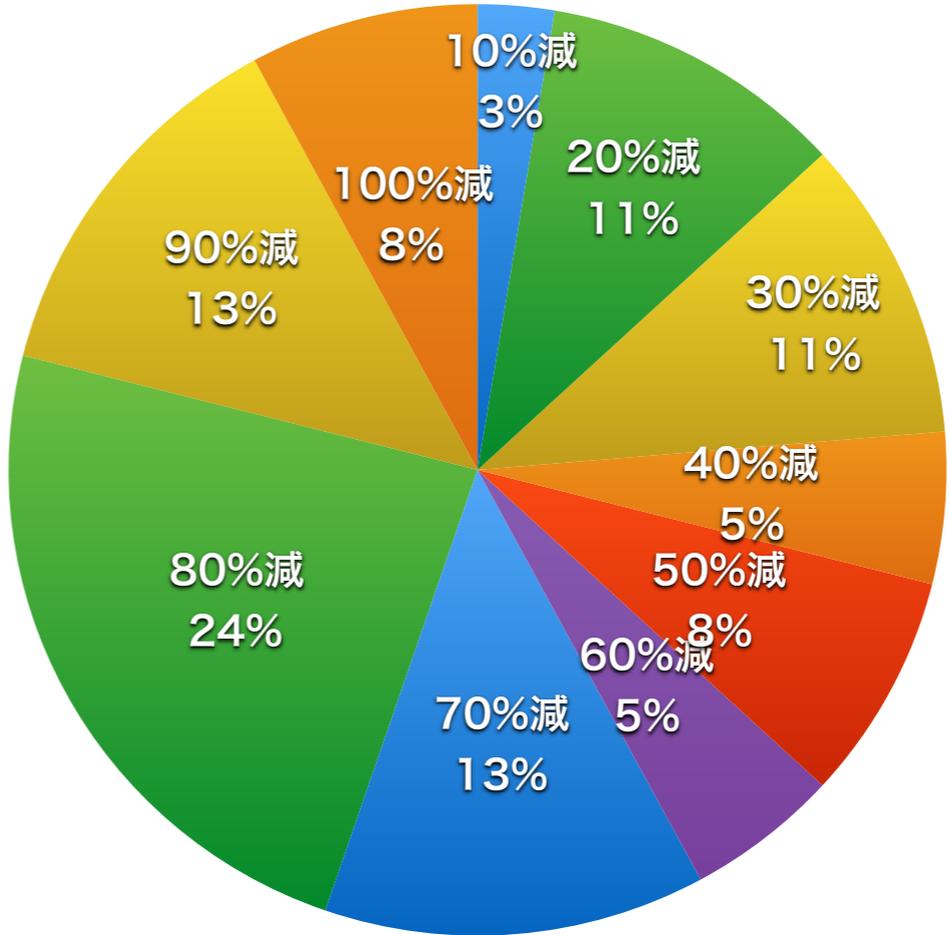
3-5. スタッフワーク以外の仕事の雇用形態

3-6. コロナ後の活動再開予定

# コロナ禍前後の収入の変化

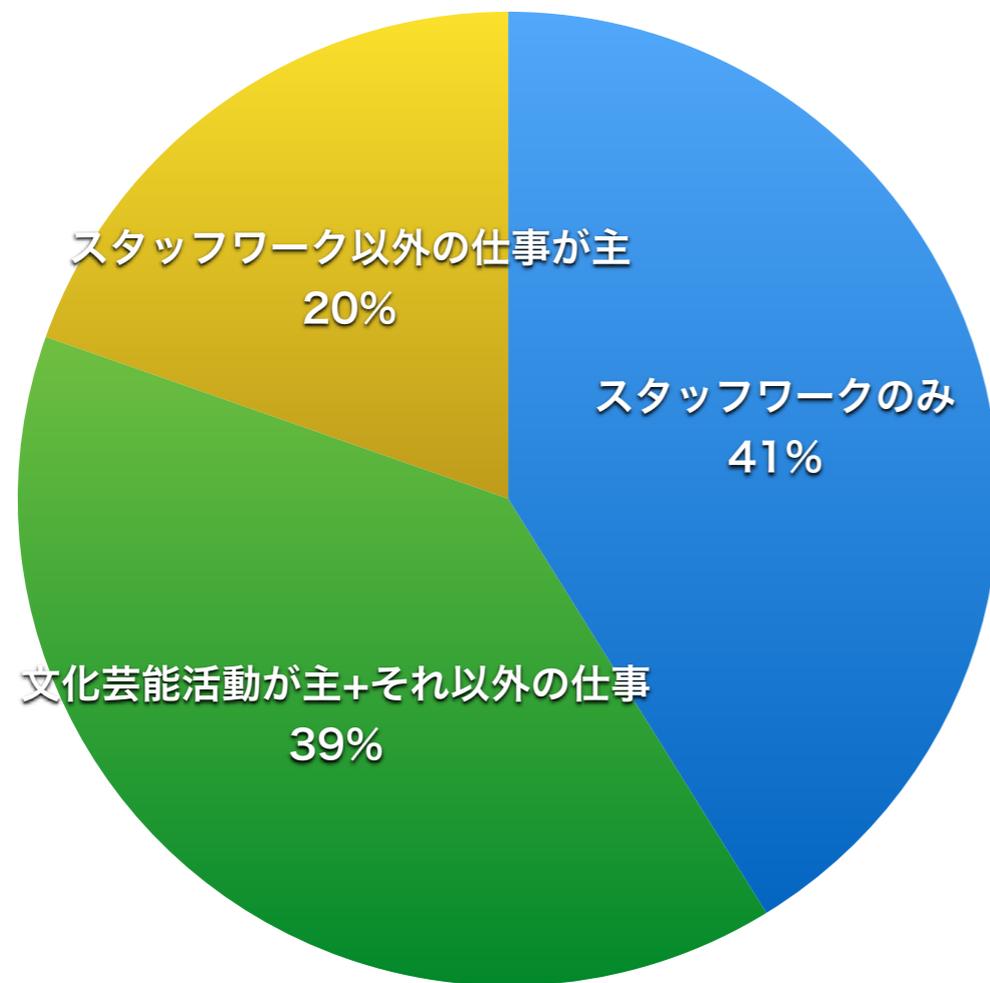


文化芸能活動による収入は減った	43
変わらない	6
増えた	2



10%減	1
20%減	3
30%減	5
40%減	2
50%減	4
60%減	2
70%減	4
80%減	9
90%減	6
100%減	5
無回答	10

# コロナ禍の前はどのように活動していたか



スタッフワークのみ	21
文化芸能活動が主+それ以外の仕事	20
スタッフワーク以外の仕事为主	10

文化芸能関連のスタッフワークのみで  
生計を立てていた

文化芸能関連のスタッフワークが主だが、  
それ以外の仕事もしていた

文化芸能関連以外の仕事为主で、文化芸能関連  
のスタッフワークは本業の空き時間に行っていた

その他

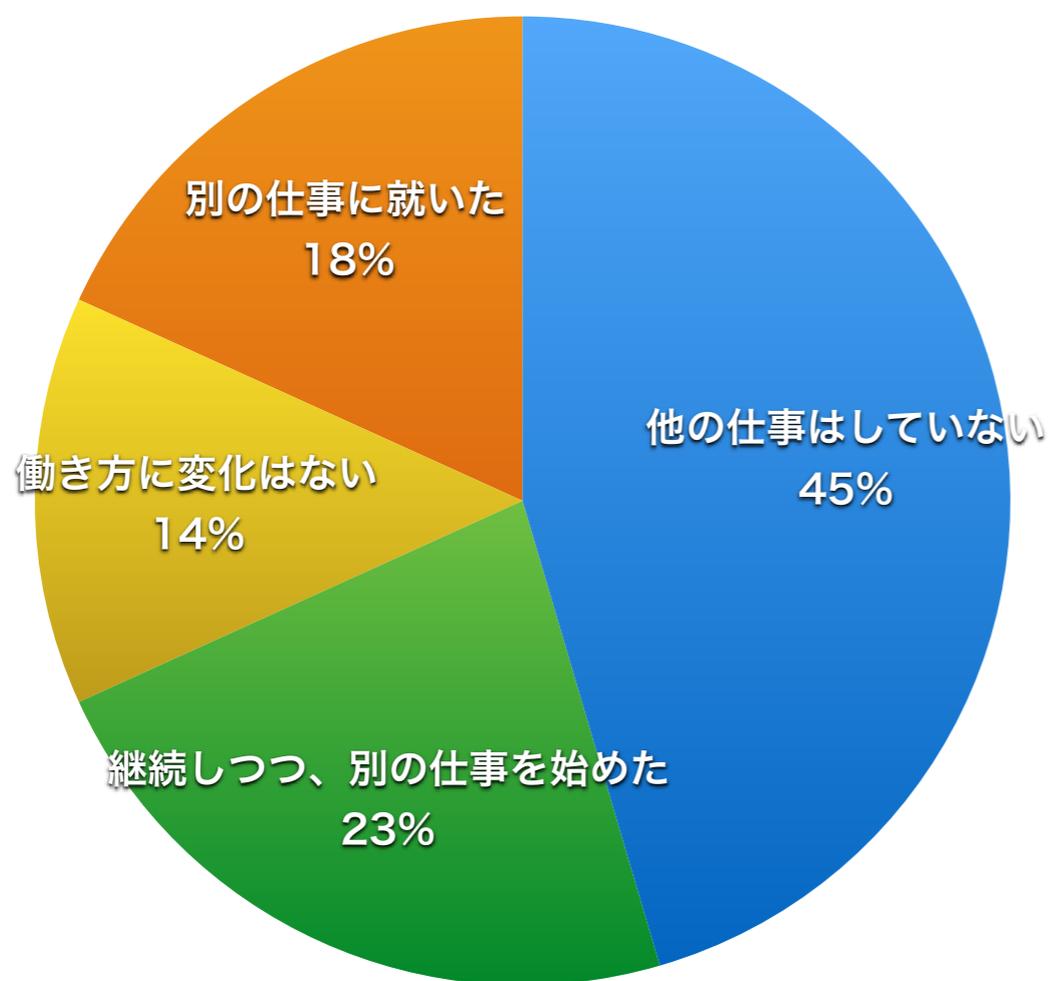
どちらが主ということはなく、イーブン

バレエ指導が主で、自身の稽古や出演はその他の時間で行っていた。

ライブハウスに所属しつつ、他でも演奏者や講師として活動。

# コロナ禍以降で働き方に変化はあったか

前質問で文化芸能活動のみで生計を立てていた人のコロナ禍での変化



他の仕事はしていない	10
継続しつつ、別の仕事を始めた	5
働き方に変化はない	3
別の仕事に就いた	4
無回答	29

コロナ後は収入が激減したが、スタッフワーク以外の仕事はしていない

コロナ後は収入が激減したので、スタッフワークも継続しつつ、別の仕事を始めた

コロナ後も収入は変わらない（または増えた）ので働き方に変化はない

コロナ後は収入が激減したので、スタッフワークはいったんやめて、別の仕事に就いた

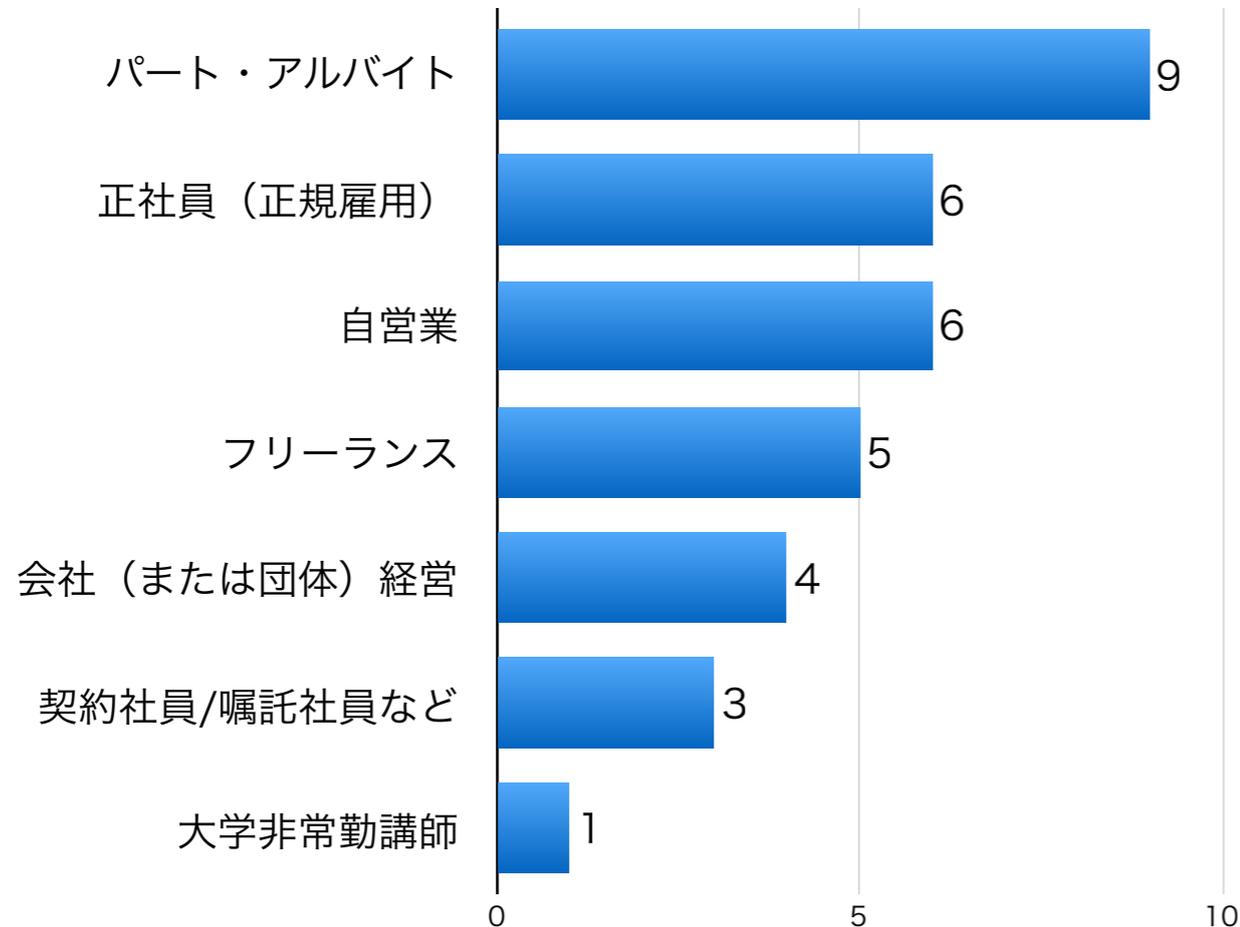
その他

会社が助成金をもらって、それから給与をいただき在宅勤務となった。

期間限定契約の仕事をした

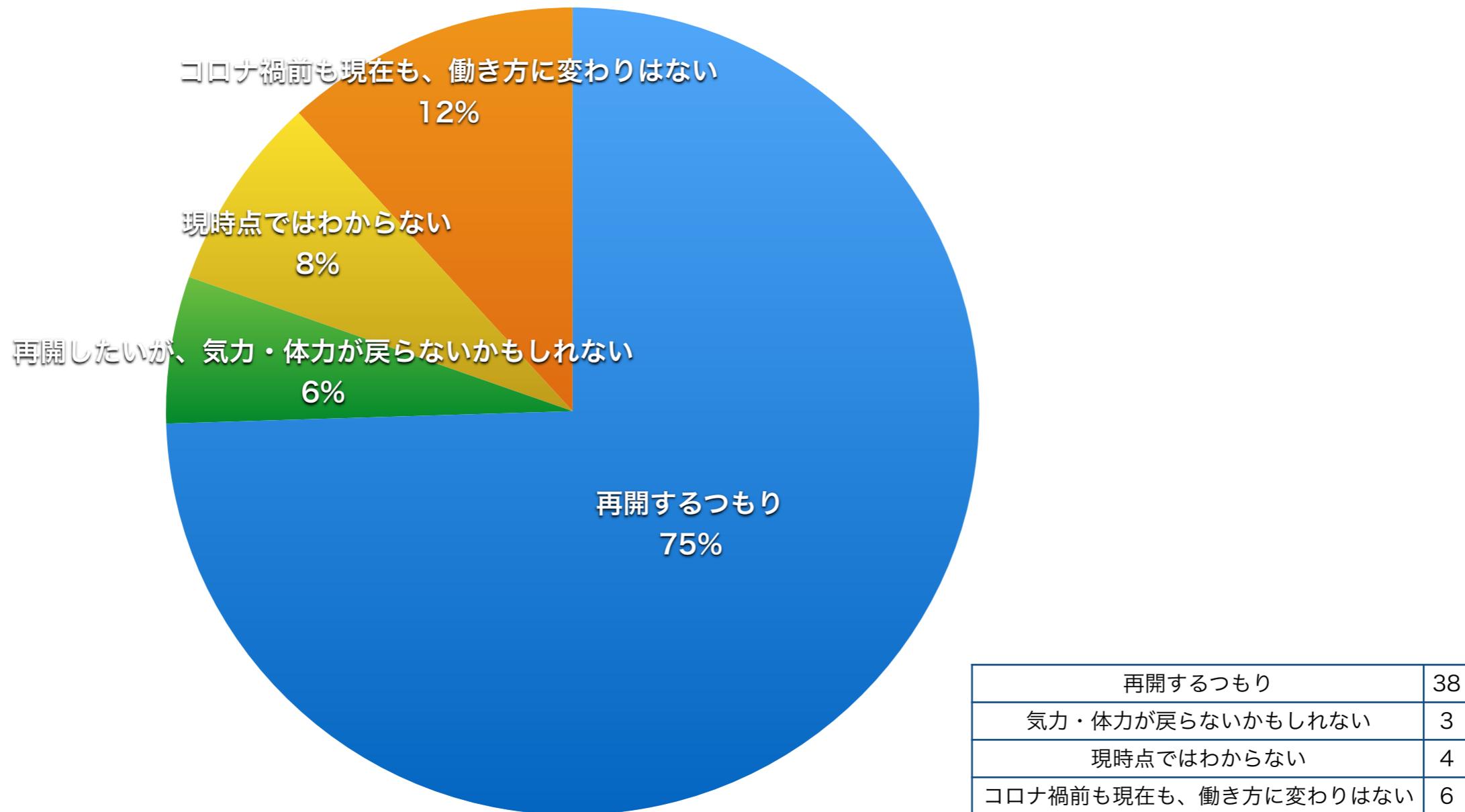
配信業務をメインとした

# スタッフワーク以外の仕事の雇用形態



アルバイト  
 コールセンター  
 ジュニアオーケストラ、児童デイセンターなどの運営  
 パーラー運営、ケータリング  
 リハーサルスタジオ経営  
 事業部で工事部舞台技術ステージ・屋根・イントレトラス製作他  
 会計事務所社員  
 公務  
 写真撮影業  
 小売(通販サイト含む)、卸し  
 工場勤務 3月まで  
 文筆や講演など、評論活動  
 業種は同じ旅行業だが、文化芸能関連以外のお客様への商品販売もやっている。  
 生中継等以外の関連作業  
 行政・地方公共団体の動画制作、ライブ配信業務  
 観光推進  
 飲食店、通信事業

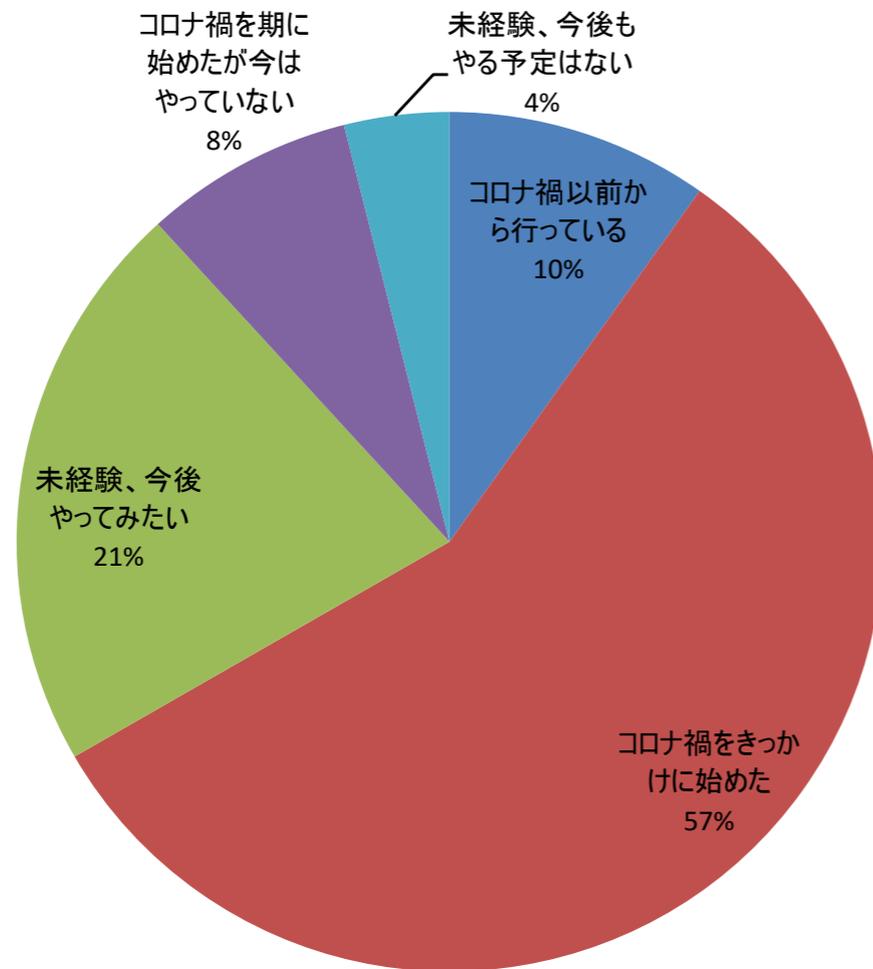
# コロナ後の活動再開予定



再開するつもりだが、芸術、エンターテイメントへの関わり方を変えるかもしれない  
コロナ前よりも活動機会が増えたので、今後も力になれるところはボランティアなどで協力したい

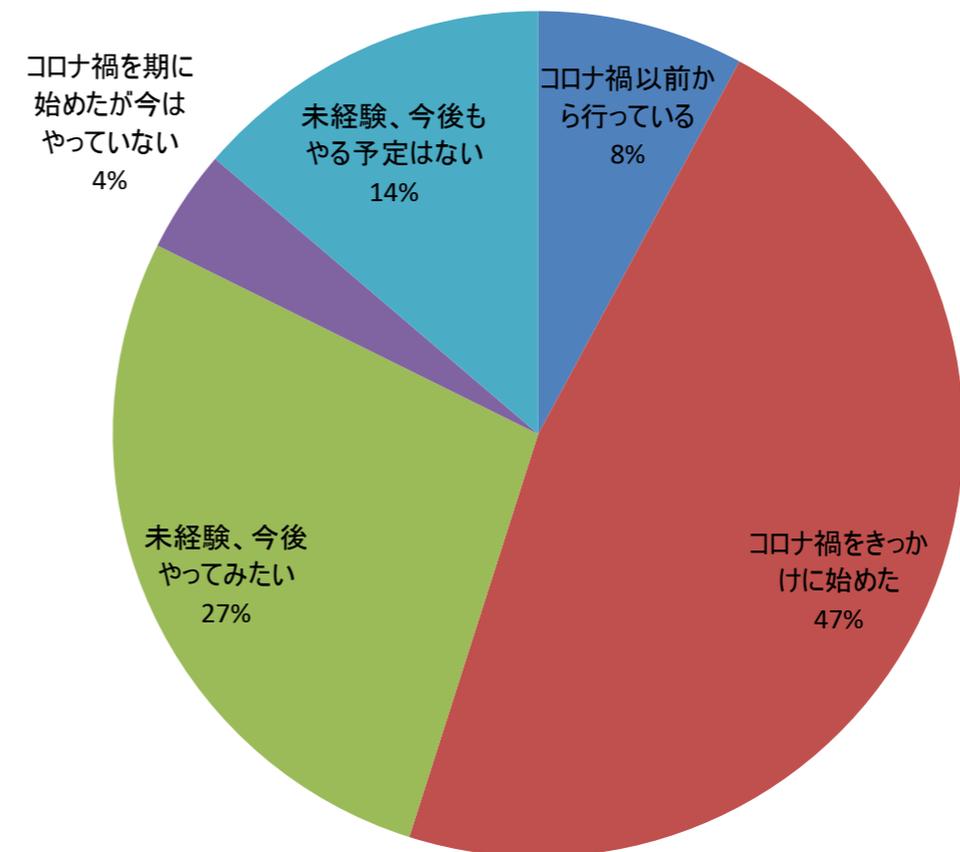
## 4-1. 配信経験

### 他者企画の配信参加



コロナ禍以前から行っている	5
コロナ禍をきっかけに始めた	29
未経験、今後やってみたい	11
コロナ禍を期に始めたが今はやっていない	4
未経験、今後やる予定はない	2

### 自主企画での配信



コロナ禍以前から行っている	4
コロナ禍をきっかけに始めた	24
未経験、今後やってみたい	14
コロナ禍を期に始めたが今はやっていない	2
未経験、今後やる予定はない	7

お問合せ先

NPO法人 沖縄イベント情報ネットワーク・笹柄暦編集室  
担当：萩野（はぎの）

090-6857-7800 [info@oein.jp](mailto:info@oein.jp)

[ver.2.0 2021.9.29作成]

[ver.1.0 2021.8.10作成]